

TAC

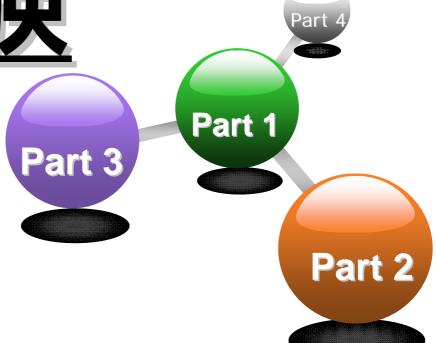
CIA/US-CPA

Produced by Masanori Saeki

合格のためのポイント

CIA試験

- 1 取り巻く環境
- 2 CIA受験スケジュール
- 3 CIA概要 試験の理解
- 4 CIAプロジェクト 勉強の進め方
- 5 CIA傾向と対策





はじめに

TAC

勉強のための合格でなく、合格のための勉強

最小限の労力で 資格を取る!

短期間で確実に、「資格試験」に合格するには、1日24時間の 「時間資産」を、効率的に活用することです。

そのためには、<u>合格までの期間を、「プロジェクト」</u>とみなして、 目標達成するための<u>勉強の仕組みを工夫する</u>必要あります。

そこで、本日は、短期合格をするためには、何をすればよいか、 受験対策のポイントを説明しますので、受験勉強の参考として 役立てて頂ければ幸いです。

ビジネスの成果とキャリアパス に結びつける!



はじめに

リターンのための自己投資



1

学習時間を確保する!

<u>どこを掘り下げるべきか?</u>

2

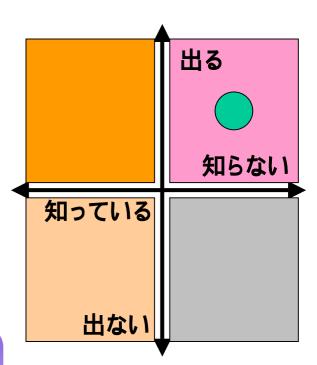
講義の<u>予習</u>は余裕のある人だけ! 講義の復習に力点!

3

出題 Partの<u>イメージトレーニング</u>! 出題 Partの目次は記憶!

4

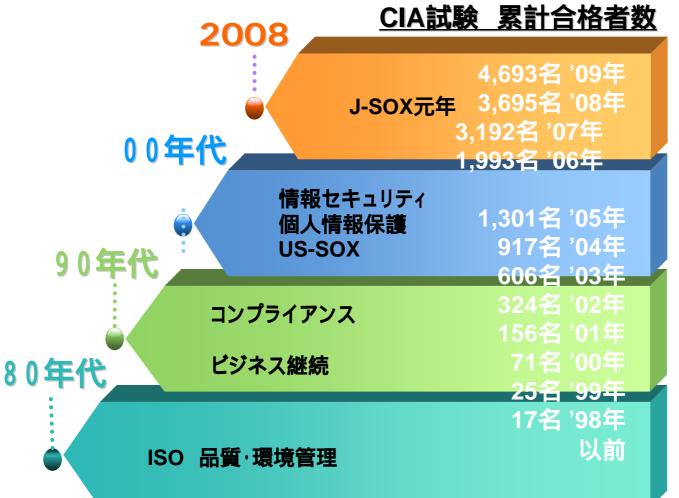
過去問が大切! 過去問の回答率<u>90%目標</u>!





1 取り巻く環境





会社法 金融商品取引法 米国企業改革法 (2002年) エンロン事件 (2001年) COSOレボート (1992年)



2 CIA受験スケジュール PDCA Cycle TAC

1 CIA概要

2 勉強の進め方

3 傾向と対策

試験の理解

全般内容の理解

理解度の確認弱点の補強

2010/7/31 CIA



3 CIA概要 - 試験の理解





試験の理解

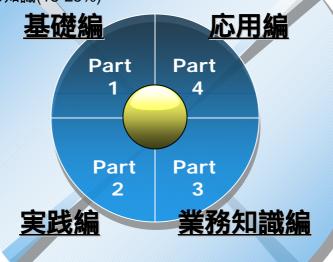


3 CIA概要 - 試験の理解

TAC

ガパナンス・リスク・コントロール における内部監査の役割

- A IIA属性基準の遵守(15-25%)
- B リスクベースの監査計画策定(15-25%)
- C 組織のガバナンスにおける内部監査部門の役割(10-20%)
- D 内部監査のその他の役割と責任(0-10%)
- E ガバナンス・リスク・コントロールに関する知識(15-25%)
- F 監査計画(15-25%)



- ビジネスマネジメント・スキル
 - A 戦略的マネジメント(20-30%)
 - B グローバルビジネス環境(15-25%)
 - C 組織行動(20-30%)
 - D マネジメントスキル(20-30%)
 - E 交渉(5-15%)

- A 監査の実施(25-35%)
- B 個別業務の実施(25-35%)
- C 監査結果のモニタリング(5-15%)
- D 不正の知識(5-15%)
- E 監査ツール(15-25%)

内部監査の実施

- く ビジネスプロセス(15-25%)
- B 財務会計(15-25%)
- C 管理会計(10-20%)
- D 規制·法律·経済(5-15%)
- E 情報技術(30-40%)

ビジネス分析と情報技術



3 CIA概要 - 試験の理解



鳥の目

空から見下ろす = 全社的な視野に立って会社を俯瞰する

犬の目

嗅覚で嗅ぎ回る = 現場レベルの業務上の問題箇所をつきとめる

虫の目

複眼を使って見る = 近いところで 様々な角度から注意深〈観察する

魚の目

水の流れを読む = 世の中の流れ を敏感に感じ取る 経営者

Part 4 ビジネス・マネジメントスキル

応用編

Part 1 基礎編 ガバナンス・リスク・コントロールにおける 内部監査の役割

Palit 3 業務知識編

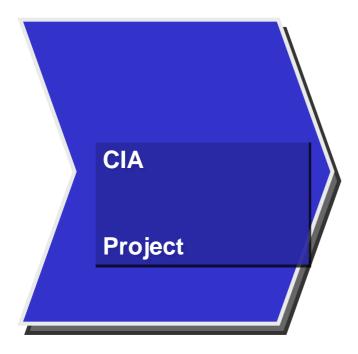
ビジネス分析と情報技術



4 CIAプロジェクト - 勉強の進め方 *TAC*



1 CIA概要



試験の理解



TAC

プロジェクト・スタート

時間配分

TAC 講義 30% 理解力 TAC テキスト 記憶力 60% TAC 問題力一 解答力 10% 弱点補強

通学 DVD

実践要綱

1回目 2回目 3回目~

参考書籍

* 学習時間の確保

自分なりの勉強時間割表を作成する

- ・ 日ごとの学習時間
- ・ 週ごとの学習時間
- ・ 月ごとの学習時間
- ・ 年度ごとの学習時間

モチベーションを保つコツ

インプット&アウトプット

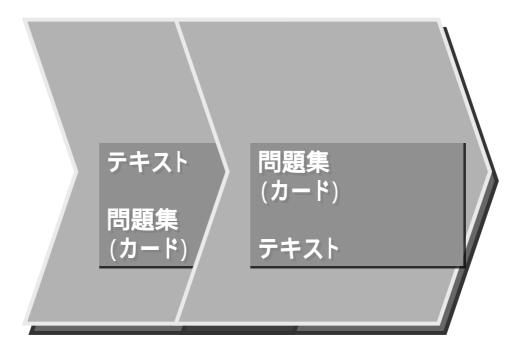




4 CIAプロジェクト - 勉強の進め方 *TAC*



2 勉強の進め方



全般内容の理解





プロジェクト·スタート <u>時間配分</u>

30%

TAC 講義

理解力

TAC講義

- · Part毎に勉強時間を区切る。
- · Part毎のフレーム(=目次)を理解する。
- · Partの全体イメージ(=目次)を俯瞰する。

問われていることを自信をもって解答できるようにするためには、<u>Partで求められている知識</u>は何かを常に意識する

そのためには、「全体構造の把握」理解に努める

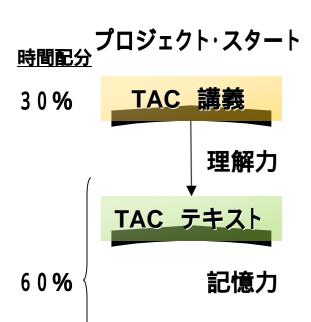
注意!!

最初から細かいことにはこだわらない





TAC



テキスト

- · Partのテーマと目次(テキスト)を関連づける
- · Partの目次(テキスト)を落とし込む
- ・「専門的実施のフレームワーク」はバイブル。

テキストの<u>目次全体にさっと目を通す癖</u>をつける 復習主体

「出題傾向の確認」中心でテキストを通読する

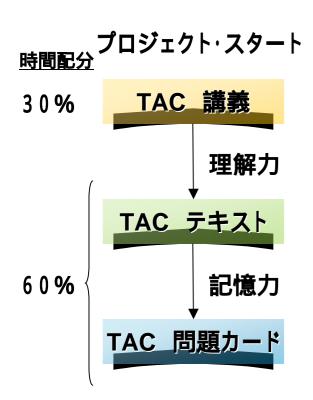
注意!!

じっくりと読まないでフォト·イメージで読み進める









問題カード(1回目)

- 過去問題をひたすら解く(テキストとのリンク)
- ・ 全体の問題傾向が少しわかるレベルでよい
- ・ 誤答には、<mark>色でマークする</mark>

テキストの知識だけでは、すべて正答できない。

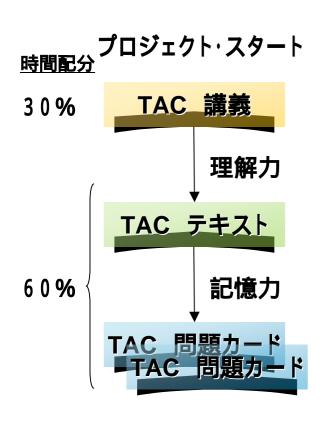
テキストはコンパクトに纏まっているので、突っ込ん だ質問は、「問題カード」で覚える。

1回目は、正解がまぐれであった場合、誤答に入れて、<mark>間違っても気にしない</mark>。そのあと、Partのテーマ、及び、全体の解答率を書きだしてみる。









問題カード(2回目)

- · 2回目は意識的にスピードをあげる
- ・ 1回目との違いを感覚的に理解する
- ・ 誤答には、 色でマークする

2回目は、解答し終わったら、テーマごとに絞りこんで、<mark>選択肢の解答を理解</mark>するように努める。

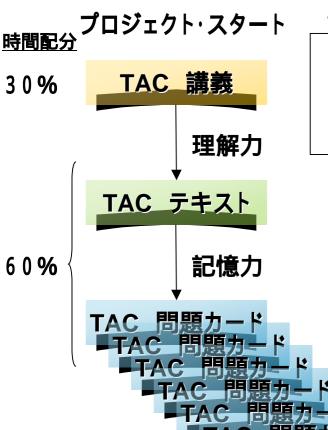
問題の形式を変えて出題されるので、<u>質問で問われていることは何か</u>を抑えるようにする。

ワンパターンに正誤だけの確認をしていると、実際の試験では、戸惑う問題もあり。常に、問題の イメージをしっかりと解答文で理解すること。





TAC



問題カード(3回目~)

- ・ 見慣れた過去問題を感覚で解く
- ・ 過去誤答であった問題は、原因を確認する
- ・ 誤答には、 色でマークする

マークした色別(なし・黄色・緑・赤)に分けて、試験までの期間に何度もまわすようにする。

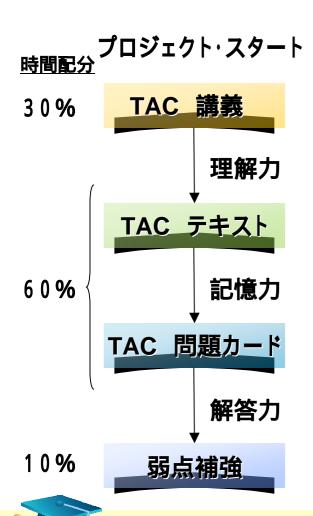
リピート主体 理解度アップ

繰り返しの回数が、自信と知識を呼び覚ます!





TAC



弱点補強

書籍と情報収集について。

テキストでさらっと記載されている箇所でも、実は、 掘り下げると、厚い書籍を読みすすめる必要のあ る内容に出くわす。

問題の解答で、**弱点と思われる場合**、自分で書店に行って、そのジャンルの<u>書籍を購入</u>して手控えて少し読む(時間がない場合にはカット)。

- ・ 問題カードを何回まわしたか?(リピート)
- ・ 問題カードの解答率は何%か?(理解度)

<u>ちょっと知っているからと、あまく見ないこと!</u>

プロジェクト・エンド





苦手な問題は?

考える力 イメ**ー**ジする力

手で書く 声に出す 寝る前パッと見る

自分が出題者! 何を聞くか?

実際の問題は、はぐらかす問題、日本語の理解力を問う問題、笑ってしまう問題(選択に迷う)もある。

直観で、出題者の気持ちになって、"感じるレベル" になるかどうか、それがひとつのポイント。 3 傾向と対策 問題集 (カード) テキスト&参考書

> 理解度の確認 弱点の補強

> > 2010/7/31 CIA



TAC

ガパナンス・リスク・コントロール における内部監査の役割

- A IIA属性基準の遵守(15-25%)
- B リスクベースの監査計画策定(15-25%)
- C 組織のガバナンスにおける内部監査部門の役割(10-20%)
- D 内部監査のその他の役割と責任(0-10%)
- E ガバナンス・リスク・コントロールに関する知識(15-25%)
- F 監査計画(15-25%)

虫の目

犬の目

- A 監査の実施(25-35%)
- B 個別業務の実施(25-35%)
- C 監査結果のモニタリング(5-15%)
- D 不正の知識(5-15%)
- E 監査ツール(15-25%)

内部監査の実施



ビジネスマネジメント・スキル

- A 戦略的マネジメント(20-30%)
- B グローバルビジネス環境(15-25%)
- C 組織行動(20-30%)
- D マネジメントスキル(20-30%)
- E 交渉(5-15%)

鳥の目

魚の目

- A ビジネスプロセス(15-25%)
- B 財務会計(15-25%)
- C 管理会計(10-20%)
- D 規制·法律·経済(5-15%)
- E 情報技術(30-40%)

ビジネス分析と情報技術



TAC

ガバナンス・リスク・コントロール における内部監査の役割

基準遵守と内部統制

(45-75%)

目的·権限·責任 独立性·客観性(*)

専門的能力 正当なる注意

継続的能力研鑽

ガバナンス リスクマネジメント コントロール

監査の役割と責任

(10-30%)

監査計画

(15-25%)

規定の承認(*)

報告·伝達·協議 組織上の位置

外部監查人

倫理・コンプライアンス

調查·範囲·評価 手続・資源・スタッフ

計画·管理·作業(*)

Part1とPart2は、内部監査に絞られているため、纏めて勉強するのが効率的である。

「内部監査の基本」をマスターする気持ちで、「専門的実施のフレームワーク(実践要綱)」を、この機に 確実に理解すること。実践要綱は、全般に渡って広く出題されて居り、「内部監査の役割と責任」のみ ならず、「内部監査部門の管理」、及び、「業務の計画と監督」においても、その根拠となるため。







ガバナンス・リスク・コントロール における内部監査の役割

1 基準の遵守と内部統制の知識(30-50%)

問題:独立性と客観性

内部監査人は、独立性の確保により、 公正・不偏な判断を下すことができる。 次のうち、独立性を確保する最も適切 な方法はどれか?

A:内部監査部門における監督

B:内部監査部門が有する知識と技能

C:組織上の地位と客観性

D:内部監査人の知識と技能

正解: C 組織上の地位と客観性

内部監査人は、組織上独立していなければならず、かつまた、内部監査 人は内部監査業務の遂行にあたって、 客観的でなければならない。

(実践要綱1100 独立性と客観性)







ガバナンス・リスク・コントロール における内部監査の役割

2 内部監査部門とその他の役割と責任(10-30%)

問題:内部監査活動の方針及び手続

内部監査部門の業務基準を日々遵守 するには、内部監査スタッフを指導 しなければならない。そのために最も 必要なことは次のうちどれか?

A: 実績の評価

B:地位を記述したもの

C: 品質プログラムの評価

D:方針と手続

正解: D 方針と手続

内部監査部門長は、内部監査部門の 手引きとなる方針と手続を策定しなければならない。

(実践要綱2040 方針と手続)







ガバナンス・リスク・コントロール における内部監査の役割

3 監査計画(30-50%)

問題:業務計画

<u> 監査目標を述べているのは、以下の</u> 内どれか?

A:現金不足のパターン分析

B:現金受取及び保全の適切性評価

C:銀行勘定調整表の計算突合

D: 当該日の現金預入の観察

正解: B

現金受取及び保全の適切性評価

業務(内部監査部門における)に対し 目標設定されなければならない。

(実践要綱2210 業務目標)

基礎編



分析、計算突合、及び、観察は、監査手続であるため、誤り。



TAC

内部監査の実施

監査と業務の実施基準の適用モニタ!(50-70%)不正の可能性(10-30)

データの収集・分析・解釈(*)

監査調書の作成・レビュー 監査結果の報告・満足度

改善勧告・監査の業績評価

保証業務

コンサルティング業務

モニタリング・不正 フォローアップ

(10-30%) 監視方法

計画及び結果の伝達

不正の種類

不正の危険信号(*)

不正の尋問・法的手続

サンプリング・分析

データ収集・レビュー(*)

「自分だったら、どのように内部監査対応するのか」。Part2では大切なテーマ。問題内容は、具体的なケースを取り上げている。Part2は、監査手順が中心のため、Part1以上に、現場実務のイメージが大切である。

監査ツール

(15-25%)

内部監査未経験者は、「監査の実施」・「モニタリング」・「不正の知識」で苦戦するケースもある。苦手

意識あれば、実務参考書で知識の幅を広げる。

実践編 Part 2

不正の定義 不正の防止 不正の兆候 不正の調査





内部監査の実施

監査と個別業務の実施(50-70%)

問題:分析および評価

内部監査人は、監査中、分析的手続 が行使されるべき範囲を決定するの に、次のどの要因を考慮すべきか?

A:内部監査システムの妥当性

B:検査される分野の重要性

C:分析的手続きの結果に対する

予測の正確性

D:全て正しい

正解 : D

内部監査人が、分析的手続を行う範囲を決定する場合、検査される分野の重要性、財務情報および非財務情報の入手可能性、および、信頼性、分析的監査の結果に対する予測の正確性等、裏づけとなる要因も考慮される。



Part 2





内部監査の実施

2 モニタリングと不正の知識(10-30%)

問題:不正行為の兆候

内部監査人は、経営者の不正に関連 した要因についての知識がなければ ならない。以下のうち、一般的に不正 と関係ないものはどれか?

A:実績と予算の定期的な対比

B:過度の出来高(報酬)制度

C:管理職に業績達成を強く要請する

D:経営者は良好な財務数値に 関心 正解: A

実績と予算の定期的な対比は、フィード バックを提供する。これは、反復的なコ ントロールの正規かつ不可欠な要素で あり、もし有効でない場合、不正 の兆候 がある。

BとCとDは、管理職が業績を歪曲(不正)する誘引と可能性あるため、誤り。

実践編 Part 2





内部監査の実施

3 監査ツール(15-25%)

問題:データ収集技法

質問状は、発生が予想される誤りや不正を防止したり、発見したりする時に通常要求される内部統制に関する質問で構成されている。以下のうち、質問状の長所でないものはどれか?

A:容易に仕上げることができる

B、内部統制のある側面を見落とす

可能性を最小化させる

C:内部統制を理解する資料

D:応答において柔軟性ある

正解 : D

フィードバックの収集には、立会、分析、 質問の3つの方法がある。質問状は、誤 りや不正を防止または発見するためにも 活用され、内部統制の有効性を評価す るための統制テスト設計の参考となる。

実践編



質問状は、きちんと回答できるように、柔軟性がない形で構成されるべき。





ビジネス分析と情報技術

ビジネスプロセス

品質管理

規制·法律·経済

法律·規制

(15-25%)

ISOフレームワーク (5-15%)

貿易の法律・規制

予測

税制 契約

プロジェクトマネジメント(*)

法的証拠

経済指標

ビジネスプロセス分析

在庫管理

価格決定の目的

業績評価(ISO)、プロジェクト管理の技法、サプライチェーン、人的管理は、専門用語と仕組みを理解 すること。

規制・法律・経済は、学生時代の「社会」の問題に近いイメージのため、一般常識としてアップする。







ビジネス分析と情報技術

1 ビジネスプロセス/規制・法律・経済(20-40%)

問題:プロジェクト管理の技術

PERTにおいて特定の活動に対する 楽観的な所要時間が9時間、悲観的 な所要時間が21時間である。所要 時間の標準偏差の最良の見積もり はいくらか?

A: 2

B: 6

C: 9

D: 12

正解: A

楽観的な所要時間をa、悲観的な所要時間をbとすると、所要時間の標準偏差は下記の公式の通り。

業務知識編
$$(21-9) \div 6 = 2$$





TAC

ビジネス分析と情報技術

(財務会計 15-20%)

未経験者にとっては、読みづらいパートである。「会計用語」と「計算」が、重要「 ポイントとなるため、テーマを、確実に、何度もトライして、習得していくこと。

損益計算書 貸借対照表 棚卸資産 有形固定資産

投資有価証券 損益の認識

株主資本 キャッシュフロー 発生主義·費用収益 資産·負債·資本

取得原価・原価配分・評価(*)

取得原価·償却·減損 証券種類·評価·償却

計上方法·委託·割賦·工事

構成要素・配当・オプション

構成要素

税効果会計 A リース会計 A

退職給付会計 A

企業結合A

パートナーシップA

外貨取引A 財務諸表分析

金融商品 A

意義·課税所得

意義・キャピタル・オペ

意義·給付費用·引当

意義,原価法,持分法

意義·損益配分

概要·計上方法·換算

分析手法

概要·計上方法·開示

出題内容は、簿記検定3級レベルと思われるので、財務会計の基本概念をしっかり押さえることが非 常に大切である(「簿記」の勉強をする必要はない!)。

まず、「会計学の基本」として、1)財務諸表の構造(PL·BS·CF)を理解した上、2)勘定科目、及び、 3)会計処理の理解に努め、最後、4)計算問題に対応できる知識を習得すること。

尚、特殊会計(リース・税効果・退職給付・ ス・ポートフォリオ・デリバティブ)も含まれ 解けるので、問題演習で押さえる。

業務知識編

企業統合)」、及び、金融商品(ファイナン ている。「用語」の意味を知っていれば

2010/7/31 CIA





ビジネス分析と情報技術

2 財務会計(15-25%)

問題:棚卸資産

棚卸資産の評価方法について、以下のうち、時価に近くなるのはどれか?

期末商品棚卸高 売上原価

A: FIFO FIFO
B: LIFO FIFO
C: FIFO LIFO
D: LIFO

正解: C

先入先出法(FIFO)は、直近の商品仕入 を期末商品棚卸高に、売上原価に最初 の商品仕入を割り当てる。後入先出法 (LIFO)は、期末商品棚卸高 に、最初の取得原価を割り当てる。

業務知識編



従って、時価に近くなるのは、 期末商品棚卸高はFIFO、売 上原価は、LIFOとなる。

2010/7/31 CIA



TAC

ビジネス分析と情報技術

(管理会計 10-20%)

管理会計 原価計算1 原価計算2 損益分岐点

例 損益分岐点分析

財務会計との相違

直接·全部·間接費配賦(*) 総合·個別·ABC·原価差異

用語·図表·公式

業務予算

資本予算

責任会計

移転価格

意義(事業計画)

意義(投資):評価

意義(センター)・尺度

価格決定

·売上高 - 変動費 - 固定費 = 利益

·限界利益 = 売上高 - 変動費

·限界利益率 = 限界利益/売上高

·損益分岐点売上 = 固定費 / 限界利益率 = 固定費 / (1 - 変動費率)

出題内容は、工業簿記に準じる会計テーマ、及び、経営管理の意思決定に役立てる会計手法を取り 上げているので、財務会計との相違を意識して、習得する必要がある。

「原価計算」が、主テーマとして取り上げられるため、1)「用語」の意味と手法をしっかり理解し、2)「計 算方法」の習得に努めること。また、3)経営管理にかかせない「損益分岐点分析」、及び、「予算管理」 については、図表と公式で理解をすること。

業務知識編





ビジネス分析と情報技術

2 管理会計(10-20%)

問題:間接費の配賦

会社は、直接労務費、材料費、機械時間を使って、固定費を個別仕掛品に配分する。当期の間接費配賦率、及び、製造による費用は下記の通り。製造原価はいくらか?

- 直接費労務費の100%配賦
- ・材料費の20%配賦
- ・機械時間当たり\$117
- ·直接労務費 \$8,000
- ·材料費 \$2,000
- ・機械時間合計 140時間

正解: 製造原価 \$34,780

·労務費 \$8,000

·材料費 \$2,000

·間接費 \$8,000×100%

\$2,000 x 20%

\$117×140時間

\$ 24 , 780 小計

\$34,780 総合計

業務知識編



2010/7/31 CIA





ビジネス分析と情報技術

(情報技術 30-40%)

内部統制モデルCOBIT 著作権 フレームワーク ライセンス

オペレーション 職務分離 ネットワーク LAN·WAN·WEB EFT EC

インプット・プロセス・アウトプット(*)電子送金・商取引 アプリケーション

ハード・ソフト 装置·OS·言語 データ交換 EDI

モデル カギ暗号方式 システム開発 **ERP**

パッケージ ウイルス 特徴·種類 情報システム 処理形態 コンティンジェンシー 重要度·復旧計画

データベース メリット・モデル セキュリティ ファイアウォール·SSL

現代の経営及び監査においては、情報技術の知識を避けて通れない。CIA試験でも、かなりの頻度で 出題されるので(PART3の30-40%)、1)IT基本知識、及び、2)IT専門用語(テキスト)は、必ず記憶 する。計算問題はないので、記憶情報で得点を稼げる。

尚、SOXでも、「IT全般統制」を重視しているので、3)情報技術のビジネス活動へのインパクト度で解 くと良い。 業務知識編





ビジネス分析と情報技術

3 情報技術(30-40%)

問題:システム及びアプリケーションの開発

取引の支払金額の誤謬を防止する ための入力の管理で有効なものは 以下のどれか?

A: レコードカウント

B: エコーチェック

C: チェックディジット

D: リミットチェック

正解: D

リミットチェック

金額や量が与えられた情報に対して、 事前に定義された範囲にあるか否か を確かめ、エラーを発見できる。

業務知識編







ビジネスマネジメント・スキル

マネジメント 分析手法

市場と産業

製品ライフサイクル

ポートフォリオ(*)

M&A

グローバルビジネス グローバリゼーション

グローバル市場と経営

国際ビジネス法・税法

モチベーション 理論・報酬

ジョブデザイン

マネジメントスキル 集団のメカニズム

集団の発展・チーム

コミュニケーション

リーダーシップ

紛争

構造・スタイル

経営にかかわるマネジメントレベルの知識を問う試験。テキストでは、簡単にまとめてあるが、各試験のテーマを絞りだすと、「ビジネス・スクール(MBA)」では、かなりの時間を費やすテーマである。

交涉

マネジメント(経営戦略・マーケティング)&マネジメントスキル(組織行動学・リーダーシップ)について、問題カードの解答率が低い場合には、「MBA専門書籍」を購入して、弱点と思われるテーマの知識レ

ベルを広げると良い(はまらないこと!)。 応用編











ビジネスマネジメント・スキル

戦略的マネジメント(20-30%)

<u>問題:プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)</u>

応用編

Part 4

ボストン・コンサルティング・グループ (BCG)のプロダクトポートフォリオマ ネジメント(PPM)によると、成長に多 額の資金投資が必要であり、ネット・ キャッシュフローが低いのは、次のう ちどれか。

A: *金のなる木*

B:問題児

C: 負け犬

D: 花形(スター)

| iF解∶D

| 花形は、成長率が高い市場で、市場シェアが高い状態にあ る戦略的事業単位(SBU)である。市場シェアが高く、資金流 入も多いが、成長市場であるため多額の投資が必要であり、 資金流出も多い。従って、キャッシュフローの源とはならない。



2010/7/31 CIA



TAC

<u>問題カード活用法</u> パターン馴れしないためには、<u>選択肢を理解しつくす</u>!

1回目

基本は過去問題(全て解() 全体の問題傾向を把握 誤答には、色でマークする

2回目

スピードをあげて問題を解く 1回目よりも時間は短縮 **誤答**には、**色でマーク**する



4回目~

何度もまわす **90%以上の正解率**を目標

3回目

見慣れた過去問を感覚で解く 過去誤答の問題は、原因究明 誤答には、色でマークする





モチベーション

- ・全ての内容を100%理解する必要はない
- ・きれいな勉強ノートを作るのが目的ではない
- ・勉強が目標なのではなく合格することが目標
- ・過去問は90%解答力を目標にする
- ・難問奇問は無視する
- ・予習よりは復習メイン
- ・将来リターンのための自己投資と割り切る
- ・勉強時間管理帳をつける
- ・インプットはアウトプットで記憶に留まる

ご清聴頂き有難うございました。

by Masanori Saeki

